



ICT研究開発人材育成について

2006年12月13日

株式会社富士通研究所
三浦章宏



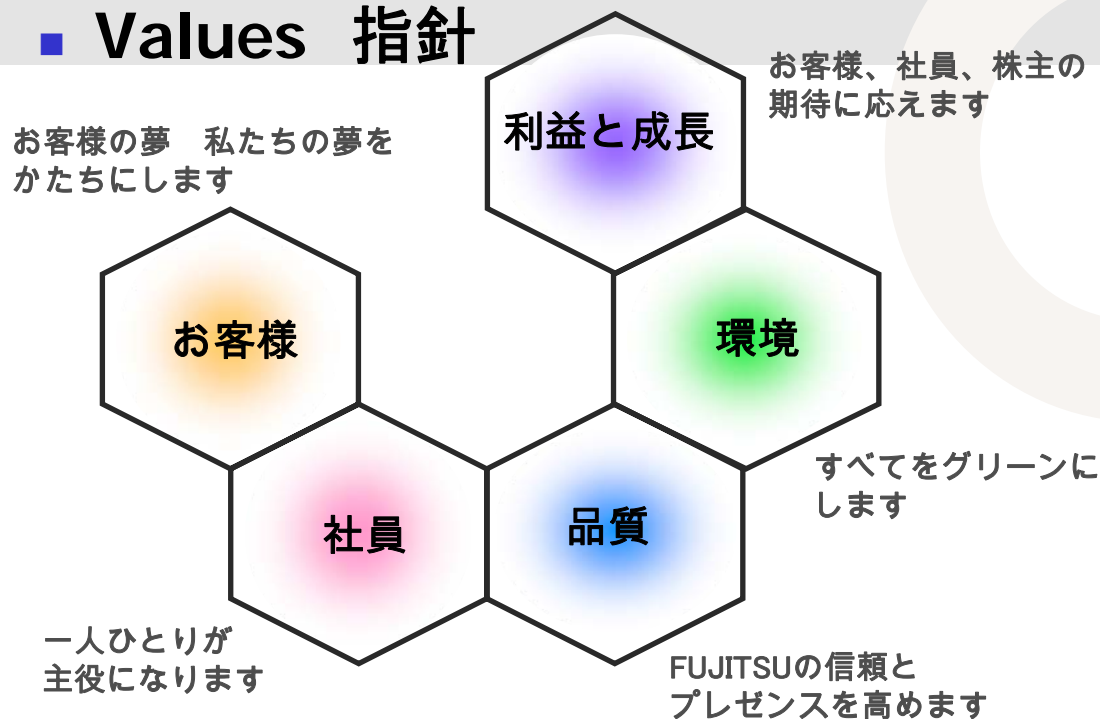
The FUJITSU Way

夢をかたちに **FUJITSU**

■ Mission 目標

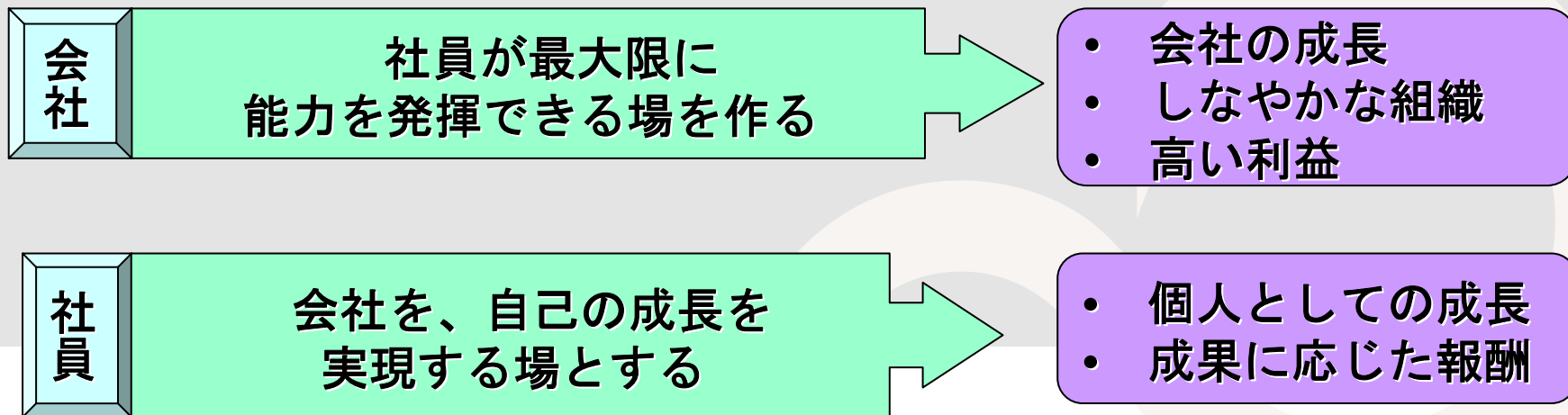
FUJITSUは、常に新しい価値の創造に努め、強いインフォメーションテクノロジーをベースに、お客様の求める高性能・高品質のプロダクト、サービスによるトータルソリューションを永続的に提供することにより、利益と成長を実現し、国際社会・地域社会との共存共栄を図ります。

■ Values 指針



■ Our Code of Conduct 行動の規範

- 人権を尊重します
- 法令を遵守します
- 機密を保持します
- 知的財産を保護します
- 収賄等を行いません
- 公正な商取引を行います



人材育成の方針

- 長期的に人材を育てる組織文化・風土を醸成する
- 原理原則に基づいた基礎的能力を持った人材を育てる
- グローバルに通用するプロフェッショナルを現場主体で育てる

人材育成活動のフレームワーク

①仕事を通して成長する

- ・変化にチャレンジする
- ・自律的に学ぶ姿勢

②基礎を固める

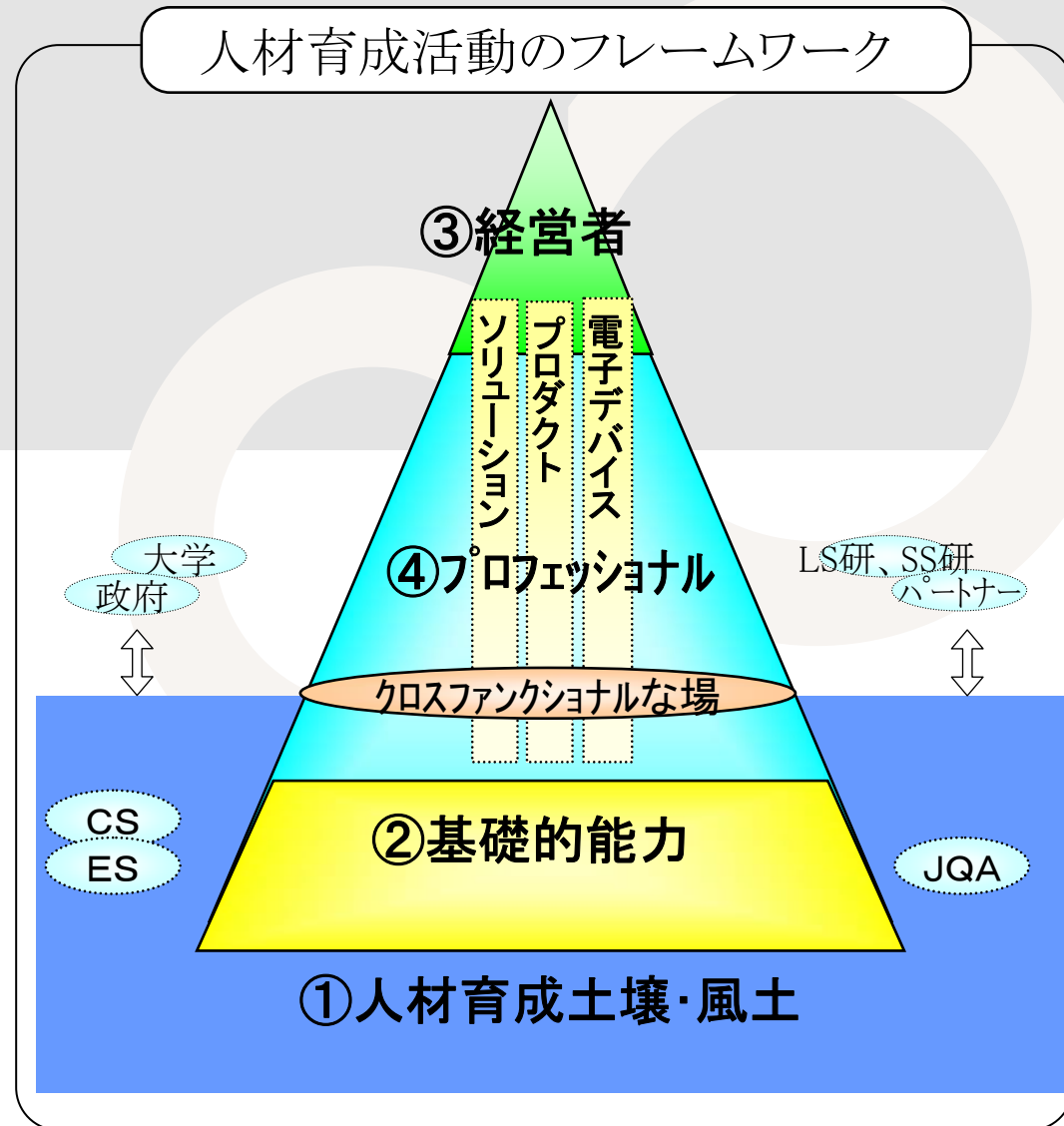
- ・The FUJITSU Way, 富士通らしさ
- ・ビジネスパーソンとしての基本動作
- ・仕事のプロセスの標準化とドキュメント化（仕事の作法を身につける）
- ・ベースとなる基礎技術

③将来の事業責任者／経営者

- ・リーダーシップ
- ・リベラルアーツ

④高い専門性をもつ人材

- ・社外／世界で認められるプロフェッショナル（一芸に秀でる）
- ・グローバルビジネスを担いうる人材





FUJITSUユニバーシティの設立

1. FUJITSUユニバーシティの設立(2002.4)

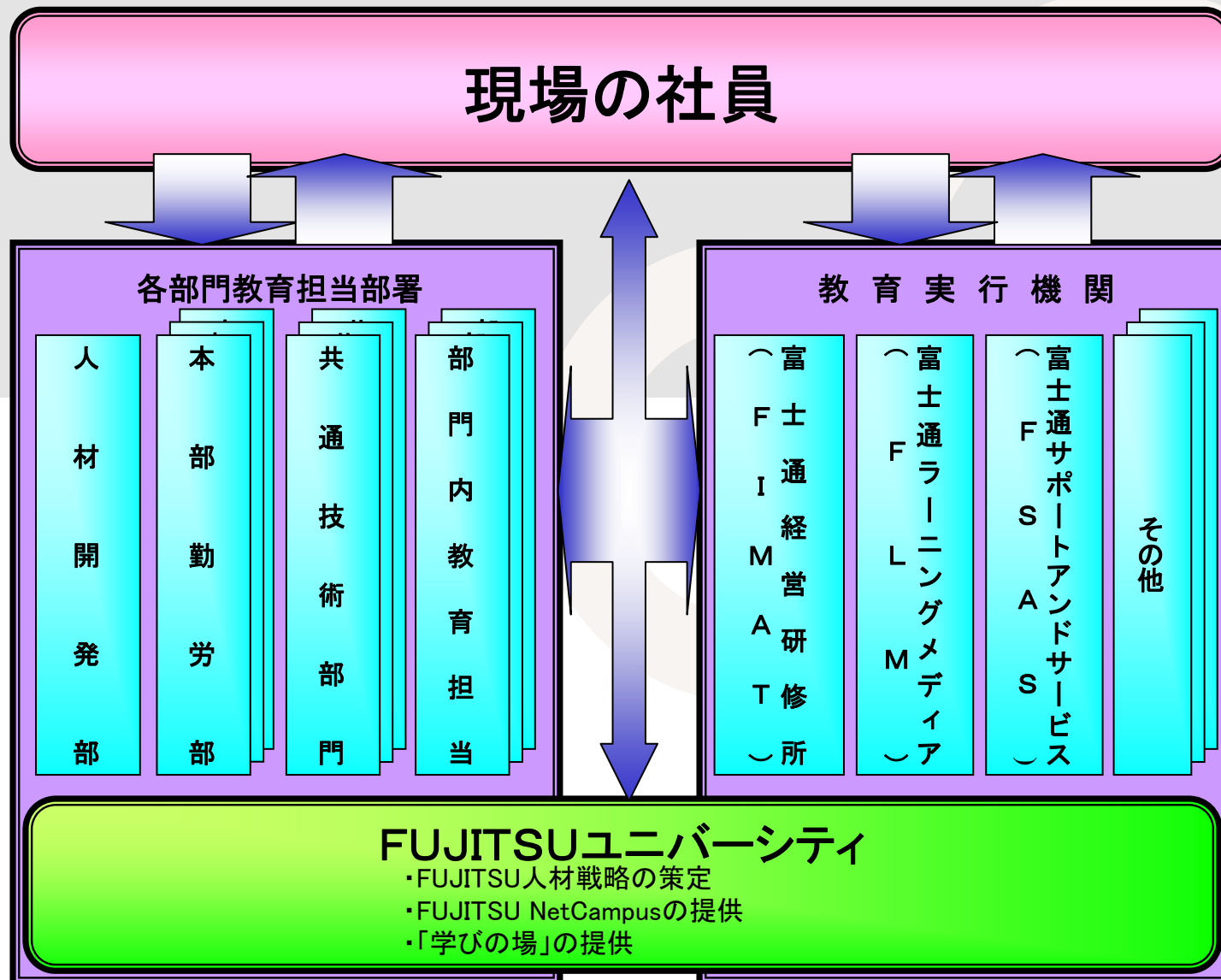
FUJITSUユニバーシティの下に各教育部門を集結させ、FUJITSUグループの教育戦略・実行の一元化を図る。

尚、当社の特徴として、教育Platform“FUJITSU NetCampus”をベースとする。

- ## 2. 教育の3本柱：
- ① プロフェッショナル人材の育成
 - ② ビジネスリーダーの育成
 - ③ ベースラインの強化

3. ビジネスと教育の一体化

- (1) 戦略との連動
 - ・トップ方針の教育への徹底
 - ・BU戦略に連動したBU教育計画の策定
- (2) 人事制度との連動
 - ・昇級・昇格との連動による教育の定着
 - ・成果評価における教育の重視
- (3) 選抜教育の実施
 - ・プロフェッショナル育成に向けた認定制度の策定, 教育体系構築
 - ・ビジネスリーダー育成に向けたサクセッションプランの策定, 教育体系構築





事業戦略との連動

企業変革の場

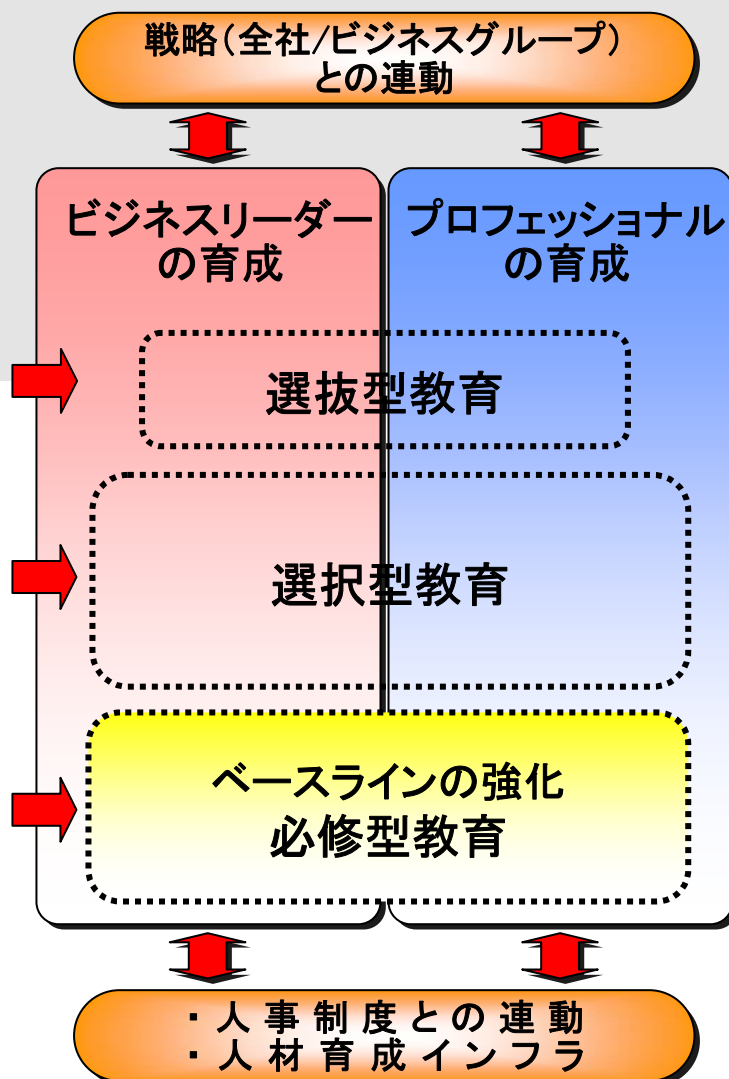
- ・リーダーシップ開発
- ・事業課題共有/解決策の提案

自律的学習の場

- ・新技術、クロススキル、メソドロジなど業務・キャリアプランに合わせた自律的学習
- ・「教えあい学びあう」組織文化の推進

FUJITSUの「型」を徹底する場

- ・富士通の価値観・仕事に不可欠な基盤能力を徹底



1. ビジネスリーダー候補の選抜教育
GKIプログラムなど
2. プロフェッショナルの高度専門教育
3. 社外派遣(MBA, 技術者留学)

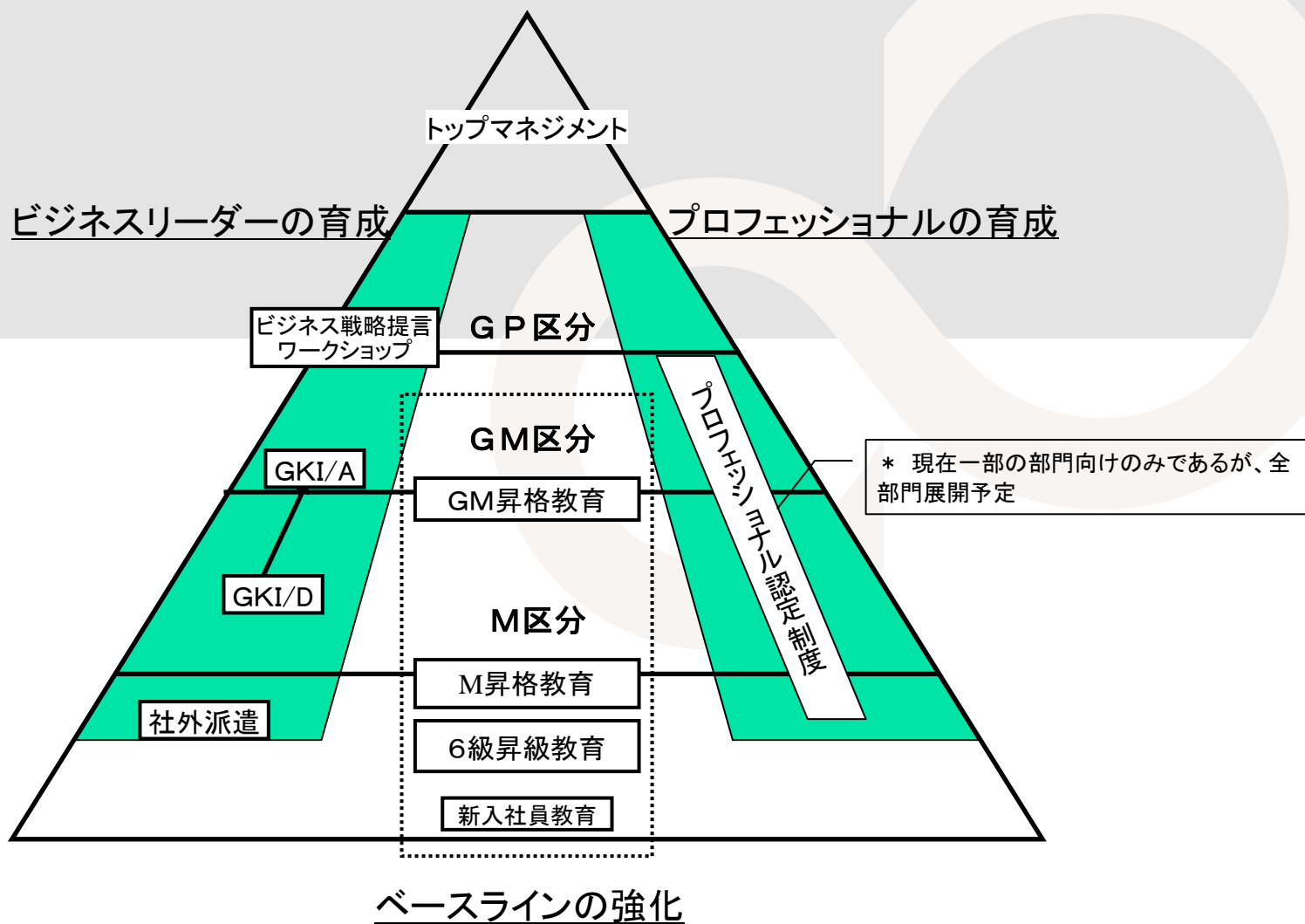
1. 各種スキル教育
テクノロジー教育, グローバル教育,
各部門主催の専門教育 等
2. ナレッジ・コミュニティ:
部門/職場でのグループ学習・
報告会などの場の提供

1. 原理原則の徹底
The FUJITSU Way
お客さま起点経営
2. トヨタ流意識改革支援

1. e-Learningの推進
2. NetCampusのグローバル展開
3. グループ全体のスキルマネジメント
システムの検討(人材情報サービス)

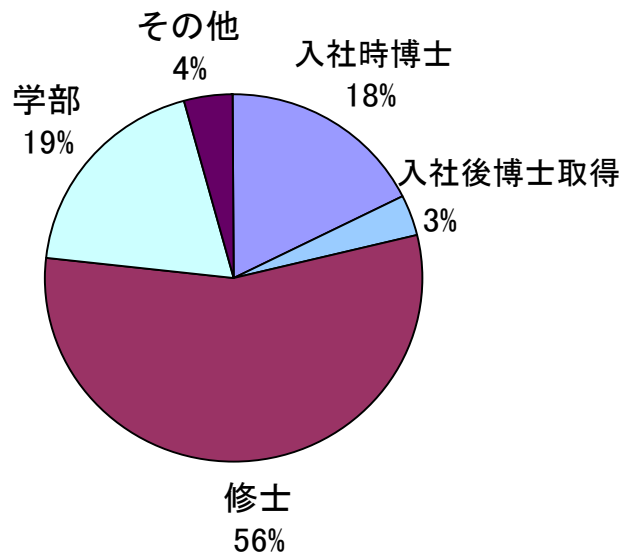


教育体系の全体像

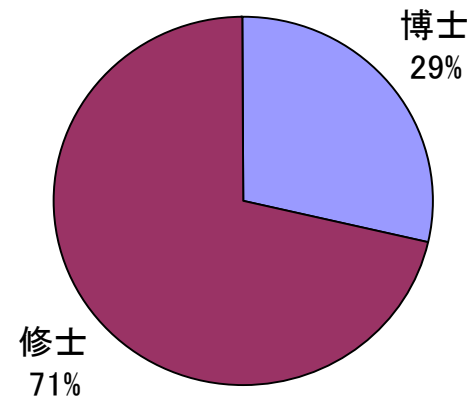


学歴の構成

2006年3月現在の学歴構成



最近6年間の新卒採用実績(累計)



●新卒博士の採用は増加傾向にある

サイエンス

アインシュタイン、…
原子力、月面着陸

エンジニアリング

エジソン、ベル、…
電球、電話

統合

企業研究所

ビジネスモデル

i-mode, Google
iTunes Music Store

半導体(情報革命)

CSR

(社会的責任)

⇒環境
⇒コンプライアンス
⇒Quality of life

ユビキタス革命
“World is Flat”

⇒地域活性化革命



テクノロジーマーケティング研修(新任幹部社員向け)

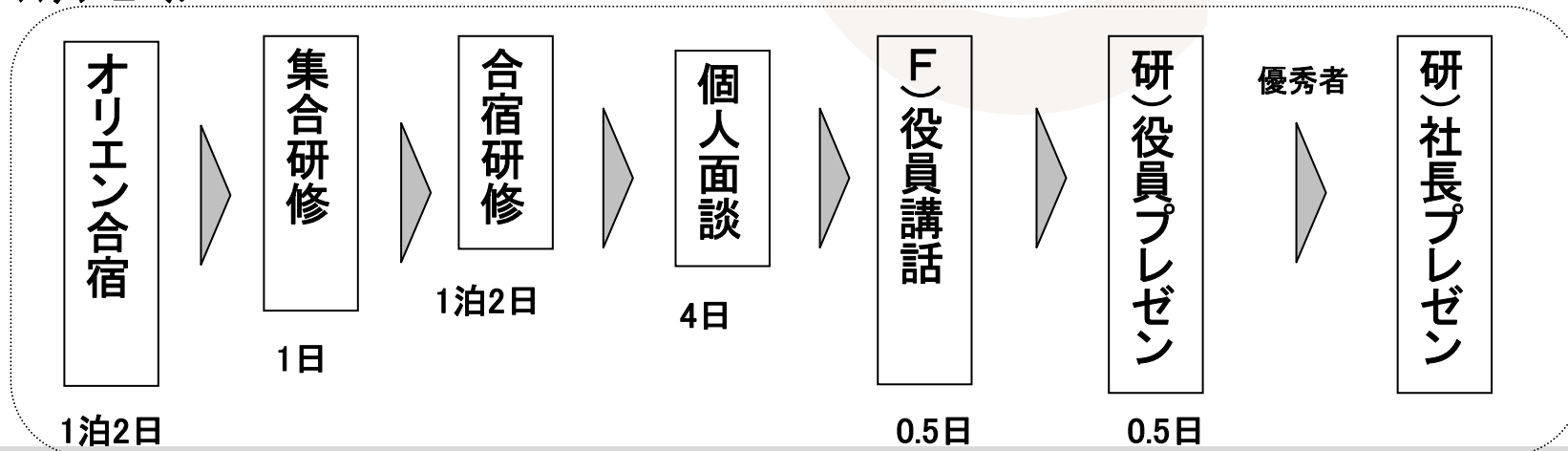
目 的

- 自分の研究テーマをもとに事業化まで踏み込んだビジネスモデルの構築
- 次年度研究テーマに繋がる様な、刺激のあるテーマを創成する
- R&Dマネージャーに必要な市場・技術・経営の視点の獲得

研修内容

- 研修期間:約4ヶ月
- 外部講師による講習と課題に対するレビュー
- 富士通経営執行役による講話(研究所への期待について)
- 研究所役員へのプレゼンテーション

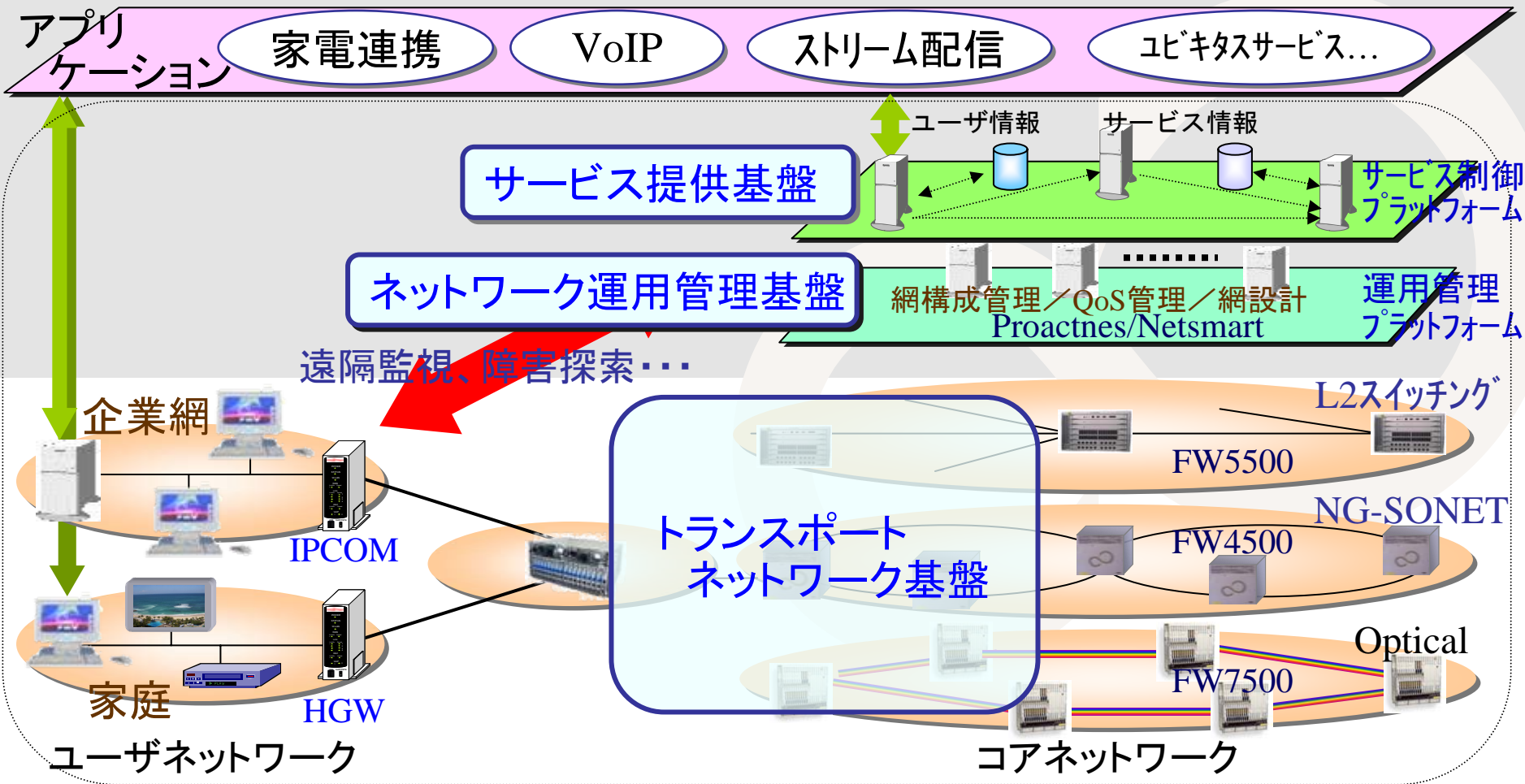
スケジュール



技術者派遣研修

派遣区分	目 的	対象者	派遣期間
海外派遣	海外の大学等に客員研究員として派遣し、業務に関連する具体的なテーマについて、その分野の第一人者の指導の下で調査研究し、高度な技術と業務に結びつく成果を得る。	勤続3年以上～35歳位迄の研究員 TOEIC730以上	1年間
国内派遣	各大学の社会人選抜制度を利用して、技術者を大学院後期課程(博士課程)へ派遣し、業務に関連する具体的なテーマについて調査研究する	勤続 3年以上の研究員	博士号取得迄 最長3年間
研究交流	当社の明確な研究課題について、現地研究者と研究交流を行い当社の業績向上に寄与するとともに、研究者としての資質を高める	主任研究員	1年間
短期研究交流	具体的な研究テーマについて、上級研究員が海外の研究者との交流により研究の方向等の洞察を行う	6級以上の研究員 (幹部社員含)	2週間～3ヶ月
若手短期研究交流	若手研究員が国際学会への参加や海外研究機関の訪問を行い、個々の研究分野での国際化を図る。(学会参加は聴講のみも可)	トレーニー 5級研究員	10日間程度

次世代ネットワークを取り巻く動向



■コンバージェンスの進展

- オープン化 水平方向(NWの相互乗り入れ)、垂直方向(アプリケーションへ機能・情報の公開)へ
- P2Pの流行 一般のユーザが情報の発信者・中継者になる



今後の重要研究開発課題

- ネットワークは水平（相互乗り入れ）・垂直（アプリケーションへ機能・情報の提供）の両方向に進展し、上下・左右を連携させるアーキテクチャの研究開発が重要。
- 多様なアプリケーション、コンテンツの実現が利益の源泉。様々なアプリケーション、コンテンツの提供を可能にするサービスプラットフォームの研究開発が重要。



求められる研究開発人材

■ ネットワークアーキテクト

- 鳥の目、虫の目を持つ人材
- 基盤技術・ソフトウェアやNWの意味・価値を理解し、アーキテクチャを描ける人材

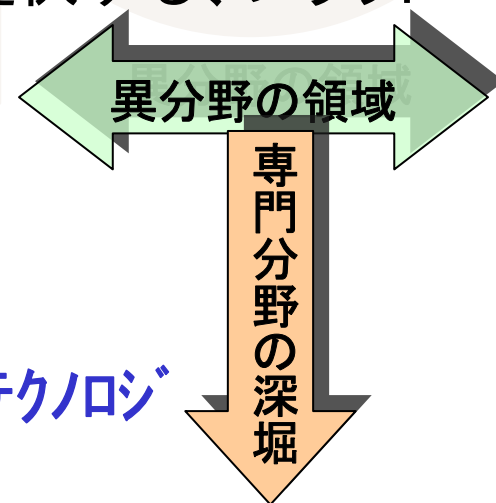
■ サービスプラットフォーム開発者

- NWエレメント・端末を活かし、NWワイドに存在するアプリケーションを組み合わせサービスを提供する、プラットフォームミドルウェアを開発できる人材

一芸に秀でて多芸に通じる人材

● いわゆる「T型人材」の育成

● 研究の出口・事業化イメージ、ビジネスモデル、テクノロジーバリューチェーンを理解・創出できる人材





- 様々なバックグラウンドを持つ研究者が集い、
(実用・実需を前提とした)高い目標に向かって
競争しながら挑戦するプロジェクト等の実施
- 先端・特定分野の専門的知識・経験の体系
化・理論化ー大学等へ期待
 - 体系化・理論化により研究開発の深堀や加速化を図る



■ ネットワークの開発、運用に関する知識と経験の蓄積

- 顧客企業への派遣等を通じ、顧客の立場での開発や運用に関わることにより、若いうちから次のユーザや最終ユーザの考え方を身につける。

■ 多くの人の話を聞き、多くの人に自らの考えを問いかける姿勢、そのための場や機会の創出

- 若いうちから学会等への積極的な参加を通じ、自らの考えを磨く(例えば、IEEE GOLD ※)

※ 卒業後10年以内のIEEE会員をGOLD (Graduate Of the Last Decade) Memberとし、Affinity Groupを結成して、「Technical career building」、「Soft-skills training」、「Networking/Mentoring」の3分野に関してセミナーなどの活動を実施。



求められる研究開発人材

(企業、大学共通課題)

- ・異分野の融合領域へチャレンジできる人材育成
 - インターンシップ、共同研究等での企業との積極交流(実践力)
 - 人間力を向上させる教育の導入(国際性、マネジメント力)
- ・専門分野の質の向上
 - 研究に集中できる環境づくり(事務スタッフ・設備の充実)



THE POSSIBILITIES ARE INFINITE